

計画の具体的な進め方に対する御意見一覧

御意見のカテゴリ(戦略No)
御意見
<p>戦略1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 危機管理体制の充実・強化にある個別避難計画の推進を県南部圏域でもっと推進をすべき。昨年より阿南市では民・官連携しながら私の避難計画を高齢者分野ケアマネージャーに協力いただき推進中である。個別避難計画の推進には、周知は勿論ですが、実際に計画を作成し訓練を実施すること迄をよりモデルケースを作り県としても市町村連携しながらより推進して欲しいです。 ○ 県関連所有の避難所における避難所環境面の充実について寒さ、暑さ対策にもなる体育館等の冷暖房設備の設置状況と今後の計画を早期にとの思いです。現況を教えてください。避難所における環境面の対策は、避難者は勿論支援者側にも大きな活動リスク、健康被害にも繋がります。早期の計画的な設置を望みます。
<p>戦略4</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関西圏をターゲットにした企業周年記念事業の誘致はいかがでしょうか？ 花火や夕暮マーケット、サップやサーフィン、藍染体験などを組み合わせて「縁日」を企業と地元の方で祝うというスタイルです。この企画は今後観光のキーとなるインバウンド事業への足掛かりになります。 <p>県として、県土地の積極的利用の斡旋や企業への積極的誘致などをご協力いただければ実現が非常にしやすいと感じております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>戦略4</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県南の最大の魅力である自然環境を、良好な状態で活用し続けるためには、良好な環境を継続的に維持管理していく必要があります。そのためには新たなしくみが必要であり、活用する主体が意識しつづけることが大事だと思います。 <p>国定公園でも、「良好な環境の継続的な維持管理」が課題になっており、その対応策の一つとして、地域で保全を行ってきた「良好な環境」を地域の観光推進に有効に活用することで、得られた資本(人、もの、資金、など)を保全活動へ還元し、より「良好な県境」のさらなる創出や継続的な維持管理につなげ、保全と利用の好循環を目指した取組が行われています。</p> <p>(例)良好な環境を活用した観光モデル事業、人材育成事業等 県南の自然環境を活用する観光推進策においても、保全への還元についてご検討いただきますようお願いいたします。</p>
<p>戦略5</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 南部地域では人口減少や産業の衰退が顕著と感じており、地域一丸となって早急に対策を講じなければ何も残らなくなる恐れがあります。 <p>特に、水産業の現場においては、漁業者の減少や漁協の経営悪化が加速していると感じていることから、担い手対策のほか、現場におけるDX、付加価値化、販路支援や漁協間の連携強化支援をより一層お願いしたい。</p>
<p>全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どの戦略にも限らず、「徳島県」事業として、プロポーザルものもたくさんあるかと思えます。実働メンバーや公益性の都合上、徳島市へ偏りがちなことが、いつも気がかりです。今後、振興局体制も変わるとのことで、より一極集中にならないようにできればと願いますが、人口都合や産業構成上の難しさも感じています。
<p>全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現行計画と改正案を比較した際、基本的な施策の方向性や文言は大きく踏襲されているように見受けられ、見直しの趣旨や重点化のポイントがやや読み取りづらい印象を受けました。「進化する計画」として毎年度見直しが行われていることは理解しておりますが、今回の改正において、どの課題認識を踏まえ、どの部分を特に強化したのかといった差分や重点項目がより明確に整理されると、計画の意図や方向性が関係者に一層伝わりやすくなり、実効性の向上にもつながるのではないかと感じました。 <p>特に、令和8年度中に「徳島県新未来創生総合計画」との統合が予定されているとのことですので、統合を見据えた優先順位の再整理や、南部圏域として重点的に取り組む分野の明確化が示されることで、戦略性がより高まるものと考えます。KPIの整理や数値目標の明確化は前進と受け止めておりますが、一方で、限られた人的・財政的資源をどの施策に重点的に配分していくのかという「選択と集中」の視点が、現行との比較ではやや見えにくい部分もあるように感じました。</p> <p>今後の人口減少や財政制約等を踏まえると、施策の網羅性以上に優先順位の明示が重要になると考えます。その観点からの整理がなされることで、より実効性の高い戦略へと進化していくのではないのでしょうか。実際に地域で事業や調整業務に携わる立場としては、重点項目が明確であるほど各主体が役割を共有しやすくなり、計画を具体的な行動へ落とし込みやすくなると感じております。</p>